

会議録様式

審 議 会 名	令和4年度 第3回杉戸町新庁舎整備審議会
開 催 日 時	令和5年3月22日(水) 午後6時00分から午後8時00分まで
開 催 場 所	杉戸町役場 第一庁舎3階会議室
会 議 の 議 題	(1)新庁舎の位置(案)について (2)基本理念及び基本方針(案)について (3)令和5年度のスケジュールについて
公開・非公開の別	☒ 公開 ・ 非公開 (傍聴者数3人)
出席委員氏名	石原 和夫、岩本 明美、佐々木 誠、藏田 幸三、 藤岡 麻紀、池澤 龍三、井上 裕文、木村 三樹男、 青木 一子

■審議の概要

1.開会

2.報告事項

(1)第2回会議における確認事項について

「第2回審議会意見回答書」の読み上げ。(事務局)

(2)町民・職員アンケート調査の実施結果について

町民・職員アンケート調査実施結果及び分析の報告。(事務局)

(3)町民ワークショップの実施について

審議会による助言等を踏まえ、参加人数の変更(20人→30人)及び実施回数変更(2回→3回)の報告。基本理念・基本方針についてはワークショップで出た意見も盛り込む予定。(事務局)

3.議事

(1)新庁舎の位置(案)について

・町の成り立ち、将来の人口分布予想、上位・関連計画との整合、防災(浸水想定)、利便性(町内各箇所からの交通利便性)及び法令・早期実現性・経済性を踏まえ、複数の新庁舎候補地について適正性を検討した。検討の結果、新庁舎候補地は

現庁舎敷地が適正と判断した。(事務局)

- ・現庁舎近くに有った商業施設の跡地については、新庁舎候補地として検討したか。(石原委員)
- ・商業施設の跡地については候補地として検討は実施していない。土地の借用等には相当のコストが掛かるため、適正ではないと判断した。なお、現庁舎敷地の他に、高野台の西仮グラウンドを候補地の一つとしていた。西仮グラウンドは洪水ハザードマップ上 3～5mの浸水が予想され、町内各箇所からのアクセス面でも難が有るため、適正ではないと判断した。(事務局)
- ・審議会としては、新庁舎候補地は現庁舎敷地が適正と判断する。(委員一同)

(2)基本理念及び基本方針(案)について

- ・前回審議会で頂いた意見を分析し、基本理念・基本方針の修正案を取りまとめた。(事務局)
- ・前回の内容を取りまとめた割には「杉戸らしさ」がぼんやりしている。この修正案で良いか、あるいは別が良いかグループワークで協議をしたい。また、前回グループワークで出た意見を取りまとめた資料が有るので参考として頂きたい。基本理念・基本方針に残すべきキーワードが有るかもしれない。(佐々木会長)

【グループワーク】

- ・2 グループにて約 30 分間グループワーク
- ・第 1 グループ発表

次の意見が挙げた。(石原委員)

〈環境〉省エネ、ZEB、ランニングコストに配慮。

〈防災〉災害時に自然エネルギーで電力供給。東日本大震災の経験から、避難者が役場庁舎に殺到すると災害対策本部として機能しなくなるため、あくまで災害対策本部として機能する庁舎。

〈市民サービス〉DX が進んでいる中、近未来型でスマートな市民サービスができる庁舎。職員が働きやすいワークスペース。

〈動線・空間〉効率の良い動線。心地よい空間で仕事ができる、市民が集まる。

〈付加機能〉愛着がわく杉戸らしい庁舎。誇れる庁舎。交流が生まれる。

- ・第2グループ発表

次の意見が挙げた。(藏田委員)

〈環境〉修正案に「エネルギー」が3か所出てくるため整理が必要。

〈防災〉例えば聴覚障害者は防災無線が聞き取れない。あらゆる人が安心して過ごせる機能が必要。

〈市民サービス〉修正案に「親しみやすく利用しやすい庁舎」とあるが、市民にと

って「やさしい庁舎」というキーワードが必要ではないか。プライバシー配慮。

〈DX〉デジタル化によって庁舎の形が大きく変わるため、DX が基本方針に記載されているが、基本理念に格上げしても良いのではないか。

〈将来展望〉いつごろまでにどのような庁舎になっていたら良いか。10 代の若者が将来になっても誇れる魅力的な庁舎。フレキシブルな庁舎。

【全体討議】

・頂いた意見を分類し、見出しをホワイトボードに書き出した。数が多いので、整理していきたい。(佐々木会長)

- ・杉戸らしさ
- ・災害に強い
- ・市民サービス
- ・環境配慮
- ・付加機能
- ・心地よい空間
- ・DX
- ・やさしい庁舎
- ・エネルギー管理
- ・プライバシー
- ・フレキシブル
- ・将来展望

・「DX」と「プライバシー」、「エネルギー」と「環境」、「市民サービス」と「やさしい庁舎」と「心地よい空間」は関連性が有るのではないか。(佐々木会長)

・杉戸町の 50 年後の庁舎を基本として重要な要素を頭出ししてはどうか。(藏田委員)

・「やさしい」や「杉戸らしさ」といった表現は町民の皆さんにとって受け取り方がバラバラになってしまうので、曖昧な表現は避けるべき。市民サービスについては利用する町民にとっての窓口の有り方と、そこで対応する職員の機能性という2つの側面が有り、その空間づくりが重要。付加機能は本庁舎機能とは別の機能とし、何が本当に杉戸町に必要なかを考える必要が有る。(池澤委員)

・基本理念や基本方針は、「杉戸町はこういう庁舎をつくれます」という選手宣誓みたいなものになる。町民の皆さんが見て、ワクワクする、楽しみだと思って頂けるようなキーワードが必要。(藤岡委員)

・職員の働き方に関するキーワードが必要。(佐々木会長)

・地球温暖化や少子化、合併問題など、周辺環境はどんどん変わってくる。将来を

見据え、そういった変化に対応できる庁舎とすべき。(岩本委員)

- ・フレキシブルな空間とすることで将来変化に対応することができる。(藤岡委員)
- ・BCP を具体的にどうするか考えることが大切。(池澤委員)
- ・窓口カウンターから職員のパソコン画面が近くで見えてしまうほどセキュリティ確保ができていない。それを改善するためにも庁舎を建て替えるべき。(池澤委員)
- ・これまでの意見を踏まえると、次の5つに整理できる。(佐々木会長)
 - ・災害
 - ・環境
 - ・付加機能
 - ・フレキシブル
 - ・情報セキュリティ

本日、原案と照らし合わせて文章にしていくのは時間的に厳しいが、グルーピングとしては上記 5 項目くらい。本日の案をもとに事務局と私の方で整理してお示しする。(佐々木会長)

- ・「杉戸らしさ」が盛り込めると良いと思う。(佐々木会長)
- ・杉戸町は宿場町のイメージ。小鹿野町役場のようにキャッチフレーズが必要なのではないか。(石原委員)
- ・農業が盛んなので「農」のテーマを入れてはどうか。(藤岡委員)

4.その他

本日話せなかった追加の提案がありましたら、意見書に書いて後日送付頂きたい。(事務局)

5.閉会